

AI事業者ガイドライン 周知浸透策について

2026年10月30日
AIガバナンス検討会 事務局

講演活動

実施済（一部抜粋）

日時	実施先・及び講演タイトル	URL
2026/5/15	AIガバナンス協会 Spotlight #9 AI事業者ガイドライン1.2の改定ポイント	https://www.ai-governance.jp/blog/spotlight-9
2026/5/27	一般社団法人 日本クラウド産業協会（ASPIC） AIガバナンスの確立に向けた政府の組み	https://www.aspicjapan.org/event/cloud/ai/activity/20260527/index.html

アンケート調査

- ✓ AI事業者ガイドラインの普及状況の把握や、今後の更新方針や効果的な普及浸透手法の検討のためのアンケート調査を実施。
- ✓ 今年度は昨年度から調査対象を拡大し、より幅広い調査を実施中。

調査期間

2026年10月7日(水)～10月26日(月) ※地方公共団体については、10月13日(火)～10月28日(水)

調査対象

総務省所管団体の内、14団体+地方公共団体
経済産業省所管団体の内、18団体

設問 (抜粋)

【AI事業者ガイドラインの認知度/活用度の把握に関する設問】

- ・ AI事業者ガイドラインは組織としてどの程度認知・浸透していますか。
- ・ ご所属部署においてAI事業者ガイドラインを業務内でどのように活用したかを以下のうちよりお選びください。
- ・ AI事業者ガイドラインを業務内で活用する上で感じた課題があればご記載ください。

【AIガバナンスに関する取組の現状や課題等の把握に関する設問】

- ・ ご所属部署内でのAIの開発/提供/利用において、特に重視しているガバナンスの観点を以下のうちよりお選びください。
- ・ AIガバナンスの構築に向けて社内でハードルとなっている点を以下のうちよりお選びください。

(参考)令和7年度 アンケート活動の実績

2

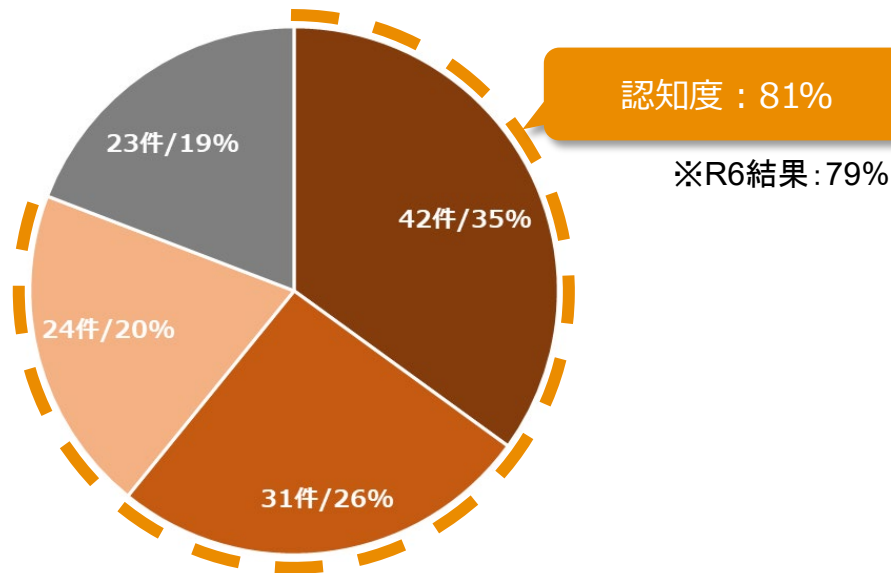
調査期間

2025年10月15日(水)～11月7日(金)

調査対象

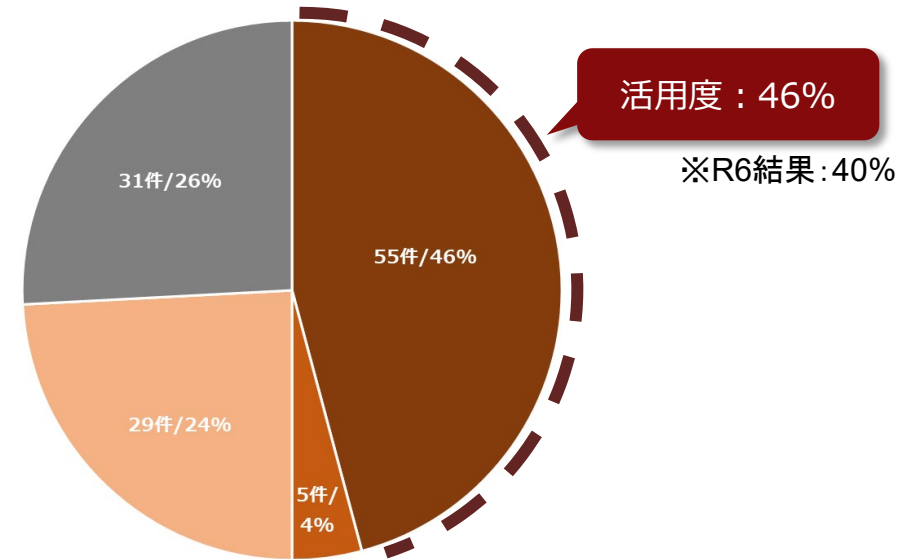
日本ディープラーニング協会（JDLA）・情報サービス産業協会（JISA）・企業情報化協会（IT協会）・AIガバナンス協会（AIGA）・日本ITU協会の所属企業

➤ AI事業者ガイドラインの認知率



- 所属部署で認知した上で、全社的な共有や活用も行っている
- 所属部署では認知しており、現時点では全社的な共有や活用に向けて検討中
- 所属部署では認知しているが、社内共有や活用に向けた検討は行われていない
- 全社として、あるいは所属部署でも、認知していない

➤ AI事業者ガイドラインの利活用率



- AI事業者ガイドラインを活用したことがある
- AI事業者ガイドラインを活用したことはないが、それ以外のいずれかは活用したことがある
- いずれも活用したことがないが、部署として今後活用する予定
- いずれも活用したことがなく、部署として今後の活用も未定

(掲載URL) https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/ai_network/02tsushin06_04000136.html

⇒【資料3】AI事業者ガイドラインの普及・浸透に関するアンケート結果概要PDF